

おおひら ふみお
大平 文雄

質問

職員の給与水準見直しをすべきでは？

回答

適正な給与水準を目標に進めていきます

〔町長〕

質問 安八町一般職員の給与は、国家公務員との比較はもとより、全国市町村

の順位においても極めて低い水準にあります。

地方自治体の給与水準の目安としては、ラス・パイレース指数（以下ラス指数という）があります。

そこで安八町のラス指数は、県内市町村においては最下位の42位であり、ラス指数は88・4となっています。安八町一般職の給与はなぜこのような状況にあるのか？一般職の初任給は国家公務員と同じであるにもかかわらず、年数の経過とともに格差が拡大しているのが現実です。

このような状況下では、職員のモチベーションの高揚に支障をきたすおそれがあり、意欲と高い業績寄与に貢献した者には厚く処遇すべきと考えます。

平均1万円程度の給与アップを図るならば、昇給に伴う財源2500万円程度が必要となります。その財源としては、①毎年時間外手当額が2400万円程度あり「働き方改革」により半減することは

十分可能です。②町職員数の年度毎シミュレーションからすれば、職員の定年退職、新規採用（30年度より毎年2人）を勘案すれば、平成33年4月には148人（除再任用）となり、十分財源確保は可能です。

一方「公債費」は、平成23年度の15・1%から平成27年度には12・7%と毎年徐々に低下しています。また、経常収支比率も平成26年度87・8%、平成27年度82・0%と改善しています。

回答 職員の給与水準のこのような状況下では、職員のモチベーションがそがれ、

意欲ある業務の推進や有能な人材確保にも支障をきたすなど、就任当時から危惧しておりました。

労働に対する適正な



職員の意識改革が求められています

減等、現状の働き方を前提にするのではなく、新たな課題や難しい課題に果敢に挑戦していく意欲を求めることが不可欠であり、職員の意識改革が重要と考えます。

評価は、労働の対価となる給与に反映されるべきであると考えていましたので、担当課に改善策を指示し、実施してきました。平成28年のラス指数は、89・8となり、改善の兆しがみえてきたところで、今後さらなる改善が必要と考えます。適正な給与水準を県下の平均値を中期的目標に見定めながら進めていきたいと考えます。また、「働き方改革」による時間外手当の削減が必要と考えます。